

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	管内事業整備効果検討業務									
契 約 概 要	<table><tr><th>業務名称</th><th>業務内容</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr></table>		業務名称	業務内容	単位	数量	摘要			
	業務名称	業務内容	単位	数量	摘要					
	管内事業整備効果検討業務									
	計画準備	計画準備	式	1						
	資料収集整理	現況の把握	ケース	1	広島港					
		資料収集整理	箇所	1	広島港					
	費用対効果分析	企業ヒアリング	箇所	4	広島港、呉港					
		需要の推計	ケース	1	広島港					
		便益の計測	ケース	1	広島港					
	資料の作成	費用対効果の算定	ケース	1	広島港					
		資料の作成	式	1	広島港、呉港					
		協議・報告	協議・報告	回	5	事前協議 1 回 中間報告 3 回 最終報告 1 回				
	成果物									
		業務完成図書作成	式	1						
	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所長 小倉 一仁 国土交通省中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所 広島市南区宇品海岸3丁目10番28号								
契 約 年 月 日	令和6年6月25日									
契 約 業 者 名	株式会社エコー 中国事務所									
契 約 業 者 の 住 所	広島県広島市中区銀山町1－11									
契 約 金 額	13,640,000円(税込)									
予 定 価 格	13,739,000円(税込)									
随意契約によることとした理由	本業務は、広島港ふ頭再編改良事業及び呉港阿賀マリノポリス地区における整備事業において、背後圏の社会経済情勢の変化を踏まえ、現況特性や港湾利用の将来性を検証した上で、費用対効果分析を用いて岸壁等の整備効果の検討を行うものである。 簡易公募型プロポーザル方式(選定段階省略型)により公示を行ったところ、4社から参加表明書及び技術提案書が提出された。広島港湾・空港整備事務所建設コンサルタント等選定委員会において、提出された参加表明書について資格要件及び専門技術力等を評価し、また、技術提案書について、同委員会において総合的に評価した結果、株式会社エコー 中国事務所を本業務の契約相手方として特定したものである。 以上により、会計法第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3項に基づき、株式会社エコー 中国事務所と随意契約を行うものである。									
業 種 区 分	建設コンサルタント等									
履 行 期 間 (自)	令和6年6月25日									
履 行 期 間 (至)	令和7年1月31日									
備 考										